

- インド通信 (号)
- 東北通信 (1号)
- 大阪通信 (号)
- 東京通信 (号)

上智大学工学部経営者の会 通信

●近況

既に暦の上では立春を過ぎていますが、今年は、例年になく厳しい寒波が西日本に押し寄せ、九州、近畿、名古屋でも多くの積雪が観測されています。また、南岸低気圧により、東京も1/22(月)の積雪に見舞われ、交通渋滞が大きなニュースになっていますが、皆さま如何お過ごしでしょうか？

小職が通算10年間勤務しております有数の豪雪地帯である山形県新庄市も先週からいよいよ本格的に雪が降り始めました。今朝、6時台、7時のNHKの全国ニュースで『山形新庄：現在の積雪量170cm、今後の12時間の積雪量60cm』との報道があり、現在、JRの奥羽本線など新庄駅を発着する在来線はとこところどころで不通となっていますが、雪には日本一強い山形新幹線は通常通り運行しています。今日から明朝に掛けて、更に積雪量が増えて、2m越えとなる見込です。

●出羽富士と呼ばれる“鳥海山の冬景色”



●東北経済のポイント 東北経済産業局「平成29年版東北経済のポイント」から引用

さて、東日本大震災から6年を迎え、最近の東北経済は、住宅着工や個人消費などに一部弱さがみられるものの、復興需要の下支えのもとで、総じてみれば緩やかな回復基調が続いています。

また、中長期的に見ると、東北では少子高齢化や人口減少が全国に先駆けて進む中、医療福祉の従業者数の増加、製造業では輸送機械工業の拡大等々、変化がみられます。

平成29年度上期は、トヨタ東日本など新型車効果で輸送機械工業やSONY、TDK、ルネサスなど半導体関連需要が堅調に推移した。下期に入っても東北の製造業では「電子部品・デバイス・電子回路」、「情報通信機械器具」は高い水準にあり、人員不足は深刻さを増して来ています。

●山形大学交流懇談会（2/5 山形県内の企業と山形大学の年一会の懇談会に出席）

県内の大手製造業は、人手不足を AI、IoT の活用で解決する動きとは別に、大学生がインターンシップで企業を選別する際社員教育や働き甲斐を充実しようとする取り組みが今後、更に重要性を増していくことを確信しました。

山形大学は県外の高校卒業生が 70%を占めており、少子化社会が進む状況で、良い学生を確保するために県内の産学官金と連携して積極的に大学の特徴をアピールしています。特に、海外への交換短期留学と通じてアントロプレーナ教育を早稲田大学と連携して始めています。

●御殿堰の冬（山形市七日町）



●「スーパー・ブルー・ブラッドムーン」

このような雪国ですから去る1月31日夜、「スーパー・ブルー・ブラッドムーン」、皆既月食は雲に隠れて見ることは叶いませんでしたが、私は不思議と残念という気持ちが起きません。

吉幾三という歌手が歌っている「俺ら東京さ行ぐだ」の歌詞「テレビも無工 ラジオも無工自動車もそれほど走って無工ピアノも無工 バーも無工 巡査毎日ぐるぐる朝起きて牛連れて二時間ちよつとの散歩道電話も無工 瓦斯も無工バスは一日一度来る。俺らこんな村いやだ 俺らこんな村いやだ東京へ出るだ東京へ出だなら 銭コア貯めで東京で牛飼うだ。」は、当時、ほとんどの日本の過疎地に住む若者の気持ちを代弁していたと思います。

平成も30年を経過し、インターネット、インスタグラム、電子決済、ビットコインなどの新しい潮流を肌で感じ、Uターン。Iターンで都会から新庄に戻ってきた若者と話をすると「新庄に無いものを探しに都会に行ってはみたものの、実は自分の一番大切なものは家族、友人、綺麗な空気、水、美しい自然など自分にとって身近なものが如何に大切かやっと分かった。」メーテルリンクの“青い鳥”のように自分の一番大切なものは、実は、一番身近なふるさとにあった。“無いもの探し”とは決別出来た。

上智大学理工学部経営者の会でも、卒業生として大学や在校生に何が出来るか一緒に探す旅に出掛けましょう。